

各 位

2020年9月30日
株式会社インプレス

ベストセラーをコンパクトに再編集した
『できるポケットテレワーク入門 在宅勤務の基本が身に付く本』を10月1日に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、テレワーク入門書のベストセラーをコンパクトに再編集した『できるポケットテレワーク入門 在宅勤務の基本が身に付く本』を2020年10月1日（木）に発売します。



■これからテレワークを始める方に最適な一冊

本書はベストセラーとなったテレワークの入門書『できるテレワーク入門 在宅勤務の基本が身に付く本』（発売：2020年5月29日）をポケットサイズに再編集した書籍です。解説の詳しさはそのままに、持ち運びに便利なB6正寸の判型に小型化しました。テレワークのメリットやリスク、通信回線やグループウェアなどの環境の準備や、クラウドストレージやチャット、ビデオ会議などのツールの実践方法など、テレワークに必要な知識をひとつずつ分かりやすく解説しているので、これまでテレワークになじみがなかった人でも、すぐに新しいワークスタイルを実践できます。

■さまざまなツールの使い方が学べる

テレワークを実現するためには、機材や通信回線の準備のほか、「クラウドストレージ」「チャット」「ビデオ会議」などの各種ツールの使い方を学ぶ必要があります。また、会社によって利用しているツールが異なることから、得意先に合わせて複数のツールの操作法を身に付けておくのがベターです。本書はそうした前提に立ち、「OneDrive」「Googleドライブ」「Teams」「Skype」「Google Duo」「Slack」「Zoom」など、さまざまなツールの使い方を学べる構成にしておき、幅広いシチュエーションで役立つ知識が身に付けられます。再編集時にツールを最新バージョンで改訂しているの、安心して読み進められます。

本書で解説するテレワークツール

ひと口に「テレワーク」と言ってもさまざまな形態がありますが、本書では主にファイルの共有・共同編集と、チームでのコミュニケーションを実現するための方法を解説します。それぞれ複数のツールの使い方を解説していますので、さまざまなシーンに対応できるでしょう。

ファイルの共有や共同編集に便利

これらのツールを使えば、普段、社内で使っている文書をテレワークでも扱えます。離れた場所にも同僚や上司、顧客などと文書を共有したり、いっしょに文書を編集したりできます。

- OneDrive
 

Microsoftアカウントを使って、ファイルを複数のユーザーで共有できる
- Googleドライブ
 

Googleアカウントを使って、ファイルを複数のユーザーで共有できる

チームのコミュニケーションを円滑にする

これらのツールを使えば、会議やミーティングもテレワークで実現できます。チャットによる会話やビデオ会議、プレゼンテーションなどで、離れていてもチームのコミュニケーションが円滑になります。

- Teams
 

チャットとビデオ会議が可能で、Microsoft 365と連携できる
- Skype
 

Windows 10に標準で搭載されており、チャットやビデオ通話ができる
- Google Duo
 

ビデオ通話専用で、スマートフォンとも相性がよい
- Slack
 

話者やメンバーごとの「チャンネル」でチャットやビデオ会議、ファイル共有などができる
- Zoom
 

ビデオ会議サービスで、スケジュールも設定できる

さまざまなツールの基本操作を学べる

■よくある疑問もすっきり解消できる

書籍の巻末には、テレワークにまつわるQ&Aを掲載。よくある疑問を解消する情報や、ツールをもっと活用するためのヒントが満載です。

テレワークの疑問に答える Q&A

テレワークにまつわる操作に困ったり、疑問に思うことがあったりしたら、このページを参照してください。レッスンでは説明しきれなかった操作から、知っておくと便利な機能まで、いろいろな情報をQ&A形式で解説します。

Q1 無線LANの暗号化キーがわからない

A 無線LANアクセスポイントの側面や背面を確認します

無線LAN (Wi-Fi) の暗号化キーは、通常、無線LANアクセスポイントの側面や背面に貼られたラベルに記載されています。暗号化キーのラベルが見つからないときは、取扱説明書を参照してください。



暗号化キーは無線LANアクセスポイントの側面や背面に明記されている

Q2 どのくらいのサイズまでファイルを共有できるの？

A サービスやプランによって容量が変わります

クラウドストレージは保存できる容量が決まっています。マイクロソフトが提供するOneDriveは5GB、Googleドライブは15GBまで、それぞれ無料で利用できます。OneDriveは「Microsoft 365 Personal」(旧Office 365 Solo) を契約すると、1TBまで拡張されます。OneDriveもGoogleドライブも月額で数百円から1000円程度の追加料金を支払えば、さらに容量を追加することができます。

次のページに続く

Q3 テザリング中の通信量を節約したい

A 【従量課金接続】をオンにしましょう

パソコンからテザリングで接続するときは、通信量を抑える設定をおきましょう。【設定】の【ネットワークとインターネット】の【Wi-Fi】から接続済みのネットワークをクリックし、【従量課金接続】をオンにすると、アプリやWindows Updateの通信が抑制され、通信量を節約できます。

レッスン11の手順5を参考に、【ネットワークとインターネット】画面を表示しておく

- 1 【Wi-Fi】をクリック
- 2 ネットワーク名をクリック



ネットワークの詳細情報が表示された



- 3 【従量課金接続として設定する】のここをクリックして、オンにする

巻末にはテレワークにまつわるQ&Aを掲載

■書誌情報



書名：できるポケット テレワーク入門 在宅勤務の基本が身に付く本

著者：法林岳之・清水理史&できるシリーズ編集部

定価：本体1,180円＋税

電子版価格：1,180円＋税※インプレス直販価格

発売日：2020年10月1日（木）

ページ数：192ページ

ISBN：978-4-295-01012-8

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/429501012X/>

◇書誌情報：<https://book.impress.co.jp/books/1120101058>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/501012.jpg>

■目次

- 第1章 テレワークの基本を知ろう
- 第2章 テレワークする環境を準備しよう
- 第3章 ファイルをクラウドで共有しよう
- 第4章 チャットで円滑なコミュニケーションを取ろう
- 第5章 オンライン上で会議をしよう

■著者プロフィール

法林岳之（ほうりんたかゆき）

1963年神奈川県出身。パソコンのビギナー向け解説記事からハードウェアのレビューまで、幅広いジャンルを手がけるフリーランスライター。「ケータイWatch」などで連載中。

清水理史（しみずまさし）

1971年東京都出身のフリーライター。雑誌やWeb媒体を中心にOSやネットワーク、ブロードバンド関連の記事を数多く執筆。「INTERNET Watch」にて「イニシャルB」を連載中。

■できるシリーズについて

<https://dekiru.net>

「できる」シリーズは、画面写真をふんだんに使い、操作の流れを紙面に再現した入門書の元祖です。操作に必要な「すべての画面」と「すべての手順」を紙面に掲載しているので、パソコンやインターネットの操作に不慣れな方でも簡単に操作や知識を身に付けられます。楽しみながら操作を学べるように、各レッスンにストーリー性を持たせ、章ごとに知識が身に付く構成になっています。おかげさまで「できる」シリーズは、刊行開始から25周年を迎え、シリーズ累計7,500万部を突破しました。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計7,500万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

TEL：03-6837-5034 E-mail: pr-info@impress.co.jp URL： <https://www.impress.co.jp/>